

金劔宮



<http://digitalarchiveproject.jp/information/金劔宮>



古代出雲文化が早く海岸線を経て能登地方に及んだのに対し、この地方は大和文化の拠点であるばかりでなく、総じて県内では最も古い文化の発祥地であるから神社の由緒でも有名なことがらを数多く残している。中世以来白山七社の一に数えられ、そのうち白山本宮・三宮・岩本とともに本宮四社といわれていた。神仏習合の当時、いわゆる七堂伽藍雲表にそびえ神官社僧、即ち神人衆徒多数をようしていた。安徳天皇の寿永2年5月、源義仲が倶利伽羅谷で平家の軍勢を打ち破ったが、これを金劔宮の神恩として、鞍置馬20頭と横江庄を寄進し、それから3年の後、後鳥羽天皇文治2年2月10日、源義経が本社に参拝一泊し、神楽を奉納している他、足利・富樫・前田等、歴代武門藩主の崇敬が篤かったのである。なお、和銅年間に当宮のご分霊を奉戴して移住したといわれる岐阜県郡上郡大和町字「劔」には現に金劔神社(こんけんじんしゃ)があり、御祭神も同一である。最近になり福井県遠敷郡上中町武生にも金劔神社(かねぎじんじゃ)の存在が明らかとなった。

(引用:<http://www.ishikawa-jinjacho.or.jp/shrine/j0899/>)



001_金劔宮000



002_金劔宮001



003_金劔宮002



004_金劔宮003



005_金劔宮004



006_金劔宮005



007_金劔宮006



008_金劔宮007



009_金劔宮008



010_金劔宮009



011_金劔宮010



012_金劔宮011



013_金劔宮012



014_金劔宮013



015_金劔宮014



016_金劔宮015



017_金劔宮016



018_金劔宮017



019_金劔宮018



020_金劔宮019



021_金劔宮020



022_金劔宮021



023_金劔宮022



024_金劔宮023



025_金劔宮024



026_金劔宮025



027_金劔宮026



028_金劔宮027



029_金劔宮028



030_金劔宮029



031_金劔宮030



032_金劔宮031



033_金劔宮032



034_金劔宮033



035_金劔宮034



036_金劔宮035



037_金劔宮036



038_金劔宮037



039_金劔宮038



040_金劔宮039



041_金劔宮040



042_金劔宮041



043_金劔宮042



044_金劔宮043



045_金劔宮044



046_金劔宮045



047_金劔宮046



048_金劔宮047



049_金劔宮048